

新消防本署庁舎建設に向けた取組について（案）

消防本部総務グループ

1 経緯

幌別地区と鷺別地区の消防体制については、両地区の人口減少や都市形成の変化、消防庁舎の老朽化や耐震性、さらに津波浸水予測区域内であることなどの課題があり、大規模な津波災害が発生した場合、災害活動拠点としての機能を十分に発揮できない可能性があります。

特に、大規模な津波災害が発生した時は、消防車両等の高台への退避や119番通報を受信する消防指令センター機能の維持などの対策も必要であるほか、令和12年には幌別地区と鷺別地区を合わせた人口が4万人を下回ると推計され、高齢者の人口割合が増加した社会への対応が求められます。

また、平成30年9月に策定した「登別市本庁舎建設基本構想」では、市民が来庁しやすい最善の場所として、現消防本署庁舎の敷地内に市役所本庁舎を建設することとしており、現消防本署庁舎の移転が必要となります。

これらの課題を解決するため、平成30年11月15日に策定した「幌別地区と鷺別地区の消防体制について」に基づき、両地区のほぼ中央の高台に、消防本署と鷺別支署を統合し、スケールメリットを生かした新消防本署庁舎を設置することで、地震・津波等の大規模災害時や火災・救急救助活動時の迅速な対応を強化するとともに、市役所本庁舎が津波等で、災害対策本部としての機能が失われた場合の補完場所に活用するなど、登別市の将来を見据えた消防・防災力の充実・強化が図られ、これまで以上に、市民の生命と財産を守り、安全・安心につながるものと判断したため、新消防本署庁舎の建設に向けた具体的な取組を令和元年度から進めることとします。

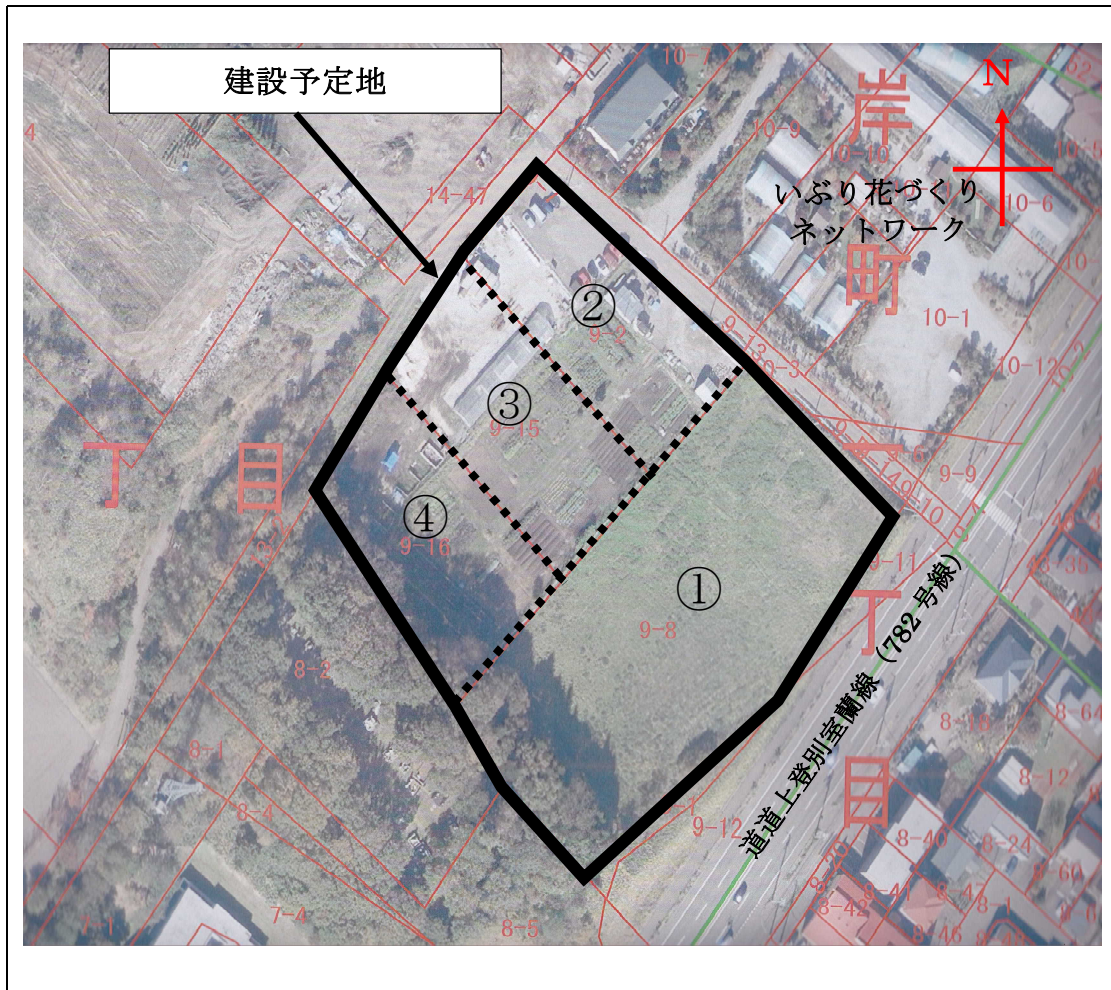
2 建設予定地

「幌別地区と鷺別地区の消防体制について」において、候補地として示していた「登別市富岸町1丁目9番8付近」（民有地）は、津波浸水予測区域外で、拡幅して利便性が向上した道道上登別室蘭線に面し、両地区への消防車両等の現場到着時間の均衡が図られます。

また、平成23年の東日本大震災や平成30年の北海道胆振東部地震等の経験をふまえ、地震・津波等の大規模災害発生時に、本市が被災した場合、派遣される緊急消防援助隊等の受援体制を整えることができるほか、ヘリコプター離発着場、自衛隊・警察車両の待機場所や宿营地、北海道開発局等が所有する非常用発電機等の活動拠点、多くの市民が避難する一時的避難所など、消防・防災の活動拠点として重要な土地であると考えます。

さらに、平時にあっても、重症患者搬送の有効手段であるドクターヘリとの連携強化が図られるとともに、消防職員・団員の訓練活動拠点として、必要な土地であると判断したため、隣接する土地を加えた一体の土地を新消防本署庁舎の建設予定地とします。

●建設予定地付近見取図及び地名地番、面積等



地名地番		敷地面積	所有者	区域区分・地目	
①	登別市 富岸町 1丁目	9-8	民有地	市街化 調整区域	畑
②		9-2			
③		9-15			
④		9-16			
合計		14,071㎡			

3 敷地内施設等

敷地は、「消防庁舎エリア」と「大規模・特殊災害対応エリア」に分けて活用する。

消防庁舎エリア	(ア) 消防庁舎 (イ) 出動スペース (車庫前) (ウ) 消火栓・防火水槽スペース (エ) 来客者駐車スペース
大規模・特殊災害対応エリア	(ア) ヘリコプター離発着場 (イ) 緊急消防援助隊・北海道広域消防相互応援隊 待機スペース (ウ) 津波・水害等の一時避難スペース (エ) 訓練スペース

4 想定消防庁舎概要

規 模	地上2階建て 延べ床面積 約3,500㎡	
入庁組織	消防本部・消防署・消防団本部	
職 員 数	消防本部10名、消防署50名	
配置車両 (11台)	<ul style="list-style-type: none"> ・水槽付消防ポンプ自動車 2台 ・化学消防自動車 1台 ・救助工作車 1台 ・はしご付消防ポンプ自動車 1台 ・高規格救急自動車 2台 ・指揮調査車 1台 ・多目的支援車 1台 ・水難救助用ボートトレーラー 1台 ・広報車 1台 	
主要諸室	1階	車庫、出動準備室、救急洗浄室、消毒室、資器材庫、タイヤ庫、乾燥室、機械室、電気室、発電機室、研修会議室(救命講習等)など
	2階	指令センター室、事務室(消防本部・消防署)、消防団本部室、会議室、男性・女性専用スペース(仮眠室・洗面室・浴室・洗濯室・ロッカー室) 食堂など
	ホース乾燥塔兼訓練塔	

5 建設スケジュール及び総事業費

令和7年度の運用開始を目指し、令和元年度に、地質調査等及び基本設計、実施設計に着手します。

また、消防庁舎本体の建設工事は、令和4年度から2年程度を予定しています。総事業費については、現時点で約27億円を見込んでいます。

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
用地測量・地質調査等	■						
基本設計	■						
実施設計		■					
用地買収			■				
敷地造成工事			■				
建物本体工事				■			
外構工事						■	
運用開始							■